

# ほすびたる

No.738

令和元年7月20日  
福岡県病院協会

C O N T E N T S

|        |                                                       |                                                    |    |
|--------|-------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|----|
| 会員広報   | 福岡県病院協会<br>第7回定時会員総会                                  | 公益社団法人福岡県病院協会事務局                                   | 1  |
| 臨床     | 済生会福岡総合病院ハートチーム<br>による経カテーテル的大動脈弁置<br>換術（TAVR）の開始について | 済生会福岡総合病院救命救急センター<br>副センター長 兼 循環器内科部長<br>大井 啓司     | 5  |
| 特別寄稿   | 脚気論争（16）                                              | 国立病院機構九州がんセンター<br>名誉院長 岡村 健                        | 7  |
| Letter | 時事管見<br>～日本版不都合な真実～                                   | 国立病院機構九州医療センター 名誉院長<br>学校法人原学園原看護専門学校 名誉校長<br>朔 元則 | 12 |
| Essay  | ズボンとパンツ                                               | 元医療法人誠十字病院<br>平衡神経科 医師 安田 宏一                       | 14 |
|        | 人体旅行記 腰（その一）                                          | 国立病院機構都城医療センター<br>副院長 吉住 秀之                        | 15 |
|        | 医者の不養生と<br>スポーツジム通い                                   | 国家公務員共済組合連合会<br>浜の町病院 副院長 瀬尾 充                     | 16 |
|        | ■福岡県私設病院協会「令和元年6月福岡県私設病院協会の動き」                        |                                                    | 11 |
|        | ■福岡県病院協会だより                                           |                                                    | 18 |
|        | ■編集後記                                                 | 岡嶋泰一郎                                              | 29 |

# Teleradiology Service. and ASP Service.

確かな診断を、より確かなものに。  
ネットワークを利用した読影サービスで、  
あなたをバックアップします。



## Teleradiology

～遠隔画像診断サービス～  
医療に地域格差があってはならない  
そう私たちは考えます。

## ASP Service

～遠隔画像診断ASPサービス～  
放射線科の先生方向けに、遠隔  
読影システムから課金に至るまで  
統合的にサービスをご提供します。

## 株式会社ネット・メディカルセンター

〒815-0081 福岡市南区那の川1丁目24-1  
九電工福岡支店ビル6階  
フリーダイヤル:0120-270614 FAX:092-533-8867  
ホームページアドレス <http://www.nmed-center.co.jp/>

## 寝具・病衣・白衣・タオル及びカーテンのリース洗濯 患者私物衣類の洗濯

☆寝具・カーテン・看護衣・診察台カバー・タオル・紙おむつ・レセプト用紙  
介護用品等の販売、ベッドマットリース・販売、給食材料・給食依託業者・  
重油等の斡旋及び各種保険の取扱いもしております。

福岡県私設病院協会グループ

## 福岡医療関連協業組合

Clean & Comfortable



理事長 江 頭 啓 介

|      |       |      |       |
|------|-------|------|-------|
| 専務理事 | 佐田 正之 | 理 事  | 津留 英智 |
| 理 事  | 原 寛   | 監 事  | 杉 健三  |
| 理 事  | 陣内 重三 | 監 事  | 松村 順  |
| 理 事  | 牟田 和男 | 事務局長 | 日比生英一 |

〒811-2502 糟屋郡久山町大字山田 1217-17  
TEL 092-976-0500 / FAX 092-976-2247

# 福岡県病院協会 第7回定時会員総会

◎公益社団法人福岡県病院協会事務局

日時 令和元年6月25日（火）17：00～

場所 タカクラホテル福岡  
（福岡市中央区渡辺通2丁目7-21）

出席者 出席会員 202名  
（うち委任状提出 171名）

## ■ 開会宣言

平祐二専務理事は、第7回定時会員総会開会を宣言。

## ■ 総会成立宣言

岡嶋泰一郎議長は、総会員数250名に対し、出席者は委任状を含め202名と会員の過半数を超えており、定款第17条に照らし総会が適法に成立していることを報告。

## ■ 会長挨拶

赤司浩一会長挨拶。

## ■ 議事録署名人選出

岡嶋議長は、本日の議事録署名人として、平城守 公立八女総合病院院長と 森田茂樹 国立病院機構九州医療センター院長を選出。

## ■ 議案審議（岡嶋議長）

### ○ 第1号議案「平成30年度事業報告について」

平専務理事から、概ね次のように報告された。

#### I 総務関係 ～会員数について

入会者は1会員、退会者は2会員であり、この結果、同年度末現在の会員数は250会員である。

#### II 総会について

平成30年6月27日に第6回定時会員総会を開催し、平成29年度事業報告などの4つの議案を審議いただき、いずれも原案どおり承認された。

また、平成31年3月26日に臨時会員総会を開催し、平成31年度事業計画など2つの議案を審議いただき、いずれも

原案どおり承認された。

## III 理事会について

第54回から第63回まで計10回開催し、会務の執行に当たった（詳細は議案書に記載のとおり）。

## IV 「ほすびたる」関係

編集委員会を計11回開催し、毎月20日に合計12回発刊した（詳細は議案書に記載のとおり）。

## V 研修会・県民公開医療シンポジウム関係

### 1 各種委員会等の開催状況

看護、栄養管理、リハビリテーション、経営管理委員会をそれぞれ2回、病院、診療情報管理研究、臨床検査、医療事務、企画委員会をそれぞれ1回開催した。

また、平成30年12月4日に参与・各種委員会正副委員長・役員懇談会を開催し、県民公開医療シンポジウムや各研修会について意見交換を行った（詳細は議案書に記載のとおり）。

### 2 各種研修会・県民公開医療シンポジウムの実施状況

次のとおりであった。

| 月別 | 研修会名             | 開催日       | 会場          | 参加者数 |
|----|------------------|-----------|-------------|------|
| 6月 | 第153回看護研修会       | H30. 6.19 | 九州大学医学部百年講堂 | 551名 |
| 7月 | 第1回経営管理研究会       | H30. 7. 5 | 九州大学医学部百年講堂 | 79名  |
| 8月 | 第154回看護研修会       | H30. 8.17 | 九州大学医学部百年講堂 | 531名 |
|    | 第67回栄養管理研究会      | H30. 8.18 | 福大メディカルホール  | 213名 |
|    | 第12回県民公開医療シンポジウム | H30. 8.25 | 福岡国際会議場     | 233名 |

|      |                     |                  |                 |       |
|------|---------------------|------------------|-----------------|-------|
| 11 月 | 第 2 回経営管理研究会        | H30.11. 1        | 九州大学医学部<br>百年講堂 | 84 名  |
|      | 第155回看護研修会          | H30.11. 6<br>～ 7 | 九州大学医学部<br>百年講堂 | 413 名 |
|      | 第57回診療情報<br>管理研究研修会 | H30.11.21        | 九州大学医学部<br>百年講堂 | 193 名 |
| 2 月  | 第1回リハビリテ<br>ーション研修会 | H31. 2. 2        | ナースプラザ<br>福岡    | 173 名 |
|      | 第 3 回臨床検査<br>研修会    | H31. 2.16        | 浜の町病院<br>講堂     | 94 名  |
| 3 月  | 第58回診療情報<br>管理研究研修会 | H31. 3. 6        | 九州大学医学部<br>百年講堂 | 193 名 |
|      | 平成30年度病院<br>研修会     | H31. 3.11        | 九州大学医学部<br>百年講堂 | 126 名 |
|      | 第118回医療事務<br>研究会    | H31. 3.13        | 九州大学医学部<br>百年講堂 | 206 名 |

## Ⅵ その他の事項

例年の事項であるが、四県病院協会連絡協議会を開催し意見交換したほか、「カネミ油症患者に関する治療費の支払いについての契約」を1年間更新した(詳細は議案書に記載のとおり)。

以上、第1号議案については、全員の拍手をもって承認された。

### ○ 第2号議案「平成30年度収支決算について」

#### 1 平成30年度収支決算

澄井財務理事から、平成31年3月31日現在における貸借対照表、当期における正味財産増減計算書及び同内訳表等に基づき説明があった。なお、「貸借対照表」及び「平成30年度正味財産増減計算書内訳表」は、次頁のとおりである。

#### 2 監査報告

小柳監事から、当期の計算書類が適正に処理されており事業報告も適正である旨の監査報告が行われた。

以上、第2号議案については、全員の拍手をもって承認された。

### ○ 第3号議案「理事の補充選任について」

平専務理事は、竹中副会長及び吉田理事が3月末をもって理事を退任したことに伴い、理事2名を補充選任するため、5月24日付で、全会員あてに立候補届及び推薦届の提出を依頼したところ、締切日の6月7日までに、第3号議案に記載の2名が立候補されたことを説明した。なお、本総会において選任された場合、任期は、本日の総会終了後から令和2年度の定時会員総会の終結時までとなる旨を補足した。

岡嶋議長は、本議案について質疑等を求めたが、特に質疑や異議の申し出等は無かったため、選任手続きに入った。議長は、定款第17条第3項の規定に基づき、「理事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに行わなければならない」ことを説明のうえ一人ずつ決議する旨を述べ、候補者ごとに賛成者の拍手を求めたところ、2名の理事候補者全員が、過半数を超える拍手により選任された。

### ○ 第4号議案「参与の委嘱について」

平専務理事は、現在の参与については2年間の任期がこの6月末で終了するため、新たな参与の推薦を各団体をお願いしたところ、第4号議案にある方々が推薦されたと報告した。なお、任期は、来月から2年間となることを補足した。

議長は、本議案について質疑等を求めたが、特に質疑や異議の申し出等は無かったため、議場に諮ったところ、過半数を超える拍手をもって承認可決された。

### ■ 議案審議終了

岡嶋議長の議案審議終了宣言。

### ■ 総会終了

平専務理事から、議長に対する謝辞と閉会を開催する旨が述べられ、第7回定時会員総会は滞りなく終了した。

## ■ 臨時理事会

担当理事の選定を行うため、総会終了後直ちに、新役員による臨時理事会を開催した（理事総数 25 名中、出席理事 19 名。出席監事 2 名）。赤司浩一会長が議長となり、本理事会は定款第 32 条第 1 項に定める定足数を満たしており、

適法に成立していることを告げ、議題の審議に入った。

### ○ 議題 1「各種委員会担当理事の選定について」

審議の結果、於保和彦理事が一宮仁副会長に代わり看護委員会担当理事に、また、桑野博行理事が病院委員会担当理事に選定された。

## 貸 借 対 照 表

(平成31年 3月31日現在)

(単位:円)

| 科 目             | 当 年 度      | 前 年 度      | 増 減        |
|-----------------|------------|------------|------------|
| I 資産の部          |            |            |            |
| 1 流動資産          |            |            |            |
| 現金預金            | 1,927,430  | 5,567,114  | -3,639,684 |
| 普通預金(福岡銀行赤坂門支店) | 1,425,414  | 1,663,043  | -237,629   |
| 定期預金            | 500,118    | 500,071    | 47         |
| 郵便振替            | 1,898      | 3,404,000  | -3,402,102 |
| 未収会費            | 450,000    | 200,000    | 250,000    |
| 未収金(広告料)        |            | 20,000     | -20,000    |
| 流動資産合計          | 2,377,430  | 5,787,114  | -3,409,684 |
| 2 固定資産          |            |            |            |
| 基本財産            |            |            |            |
| 特定資産            |            |            |            |
| 退職給付引当資産        | 5,844,901  | 5,539,689  | 305,212    |
| 定期預金(退職)        |            | 306,000    | -306,000   |
| 財政調整積立金         | 8,076,800  | 9,000,000  | -923,200   |
| 固定資産合計          | 13,921,701 | 14,845,689 | -923,988   |
| 資産の部合計          | 16,299,131 | 20,632,803 | -4,333,672 |
| II 負債の部         |            |            |            |
| 1 流動負債          |            |            |            |
| 未払金             | 255,350    | 247,698    | 7,652      |
| 前受金             | 397,500    | 4,467,500  | -4,070,000 |
| 会費              | 150,000    | 4,200,000  | -4,050,000 |
| 広告料             | 247,500    | 267,500    | -20,000    |
| 預り金             | 291,086    | 319,777    | -28,691    |
| 社会保険料           | 196,355    | 190,465    | 5,890      |
| 雇用保険料           | 35,991     | 35,522     | 469        |
| 源泉所得税           | 58,740     | 63,790     | -5,050     |
| その他             |            | 30,000     | -30,000    |
| 流動負債合計          | 943,936    | 5,034,975  | -4,091,039 |
| 2 固定負債          |            |            |            |
| 退職給付引当金         | 10,579,580 | 11,326,810 | -747,230   |
| 固定負債合計          | 10,579,580 | 11,326,810 | -747,230   |
| 負債の部合計          | 11,523,516 | 16,361,785 | -4,838,269 |
| III 正味財産の部      |            |            |            |
| 1 指定正味財産        |            |            |            |
| 2 一般正味財産        | 4,775,615  | 4,271,018  | 504,597    |
| 正味財産の部合計        | 4,775,615  | 4,271,018  | 504,597    |
| 負債及び正味財産合計      | 16,299,131 | 20,632,803 | -4,333,672 |



正味財産増減計算書内訳表（抜粋）  
（平成30年4月から平成31年3月31日まで）

（単位：円）

| 科 目 名          | 公益目的事業会計    |             |            |             | 収益事業等会計     |           |           |            | 法人会計       | 合 計        |
|----------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-----------|-----------|------------|------------|------------|
|                | シンポジウム      | 研 修         | 公益共通       | 小 計         | 機関紙         | 研究会       | 収益共通      | 小 計        |            |            |
| I 一般正味財産増減の部   |             |             |            |             |             |           |           |            |            |            |
| 1 経常収益         |             |             |            |             |             |           |           |            |            |            |
| （1）経常収益        |             |             |            |             |             |           |           |            |            |            |
| 特定資産運用益        | 5           | 16,664      |            | 16,669      | 2           | 1         |           | 3          | 4          | 16,676     |
| 受取入会金          |             |             | 5,000      | 5,000       |             |           |           |            | 5,000      | 10,000     |
| 受取会費           |             |             | 3,753,600  | 3,753,600   |             |           | 2,502,400 | 2,502,400  | 6,256,000  | 12,512,000 |
| 事業収益           | 900,000     | 10,046,000  |            | 10,946,000  | 1,308,000   | 1,187,000 |           | 2,495,000  |            | 13,441,000 |
| 受取補助金等         | 625,000     | 1,875,000   |            | 2,500,000   | 2,888,000   | 722,000   |           | 3,610,000  |            | 6,110,000  |
| 雑収益            |             | 19,500      |            | 19,500      |             |           |           | 0          | 79         | 19,579     |
| 経常収益計          | 1,525,005   | 11,957,164  | 3,758,600  | 17,240,769  | 4,196,002   | 1,909,001 | 2,502,400 | 8,607,403  | 6,261,083  | 32,109,255 |
| （2）経常費用        |             |             |            |             |             |           |           |            |            |            |
| 事業費            | 3,977,782   | 14,573,638  |            | 18,551,420  | 6,977,053   | 1,175,198 |           | 8,152,251  |            | 26,703,671 |
| 管理費            |             |             |            |             |             |           |           |            | 5,672,605  | 5,672,605  |
| 経常費用計          | 3,977,782   | 14,573,638  |            | 18,551,420  | 6,977,053   | 1,175,198 |           | 8,152,251  | 5,672,605  | 32,376,276 |
| 特定資産評価損益等      | -142        | 76,378      |            | 76,236      | -67         | -24       |           | -91        | -133       | 76,012     |
| 当期経常増減額        | -2,452,919  | -2,540,096  | 3,758,600  | -1,234,415  | -2,781,118  | 733,779   | 2,502,400 | 455,061    | 588,345    | -191,009   |
| 2 経常外増減の部      |             |             |            |             |             |           |           |            |            |            |
| （1）経常外収益       |             |             |            |             |             |           |           |            |            |            |
| （2）経常外費用       |             |             |            |             |             |           |           |            |            |            |
| 特定資産売却損        |             | 1,624       |            | 1,624       |             |           |           |            |            | 1,624      |
| 退職給付引当金減額      | -134,501    | -400,515    |            | -535,016    | -63,515     | -22,417   |           | -85,932    | -126,282   | -747,230   |
| 経常外費用計         | -134,501    | -398,891    |            | -533,392    | -63,515     | -22,417   |           | -85,932    | -126,282   | -745,606   |
| 当期経常外増減額       | 134,501     | 398,891     |            | 533,392     | 63,515      | 22,417    |           | 85,932     | 126,282    | 745,606    |
| 税引前当期一般正味財産増減額 | -2,318,418  | -2,141,205  | 3,758,600  | -701,023    | -2,717,603  | 756,196   | 2,502,400 | 540,993    | 714,627    | 554,597    |
| 法人税、住民税及び事業税   |             |             |            |             |             |           |           |            | 50,000     | 50,000     |
| 当期一般正味財産増減額    | -2,318,418  | -2,141,205  | 3,758,600  | -701,023    | -2,717,603  | 756,196   | 2,502,400 | 540,993    | 664,627    | 504,597    |
| 一般正味財産期首残高     | -15,092,678 | -20,993,727 | 24,814,775 | -11,271,630 | -12,799,155 | 6,031,561 | 5,655,805 | -1,111,789 | 16,654,437 | 4,271,018  |
| 一般正味財産期末残高     | -17,411,096 | -23,134,932 | 28,573,375 | -11,972,653 | -15,516,758 | 6,787,757 | 8,158,205 | -570,796   | 17,319,064 | 4,775,615  |
| II 指定正味財産増減の部  |             |             |            |             |             |           |           |            |            |            |
| III 正味財産期末残高   | -17,411,096 | -23,134,932 | 28,573,375 | -11,972,653 | -15,516,758 | 6,787,757 | 8,158,205 | -570,796   | 17,319,064 | 4,775,615  |

新 任 理 事

| 氏 名   | 所 属 病 院 及 び 役 職          |
|-------|--------------------------|
| 於保 和彦 | （一財）医療・介護・教育研究財団 柳川病院 院長 |
| 桑野 博行 | 福岡市立病院機構 福岡市民病院 院長       |

（任期：令和元年6月25日から令和2年度定時会員総会終結時まで）

委嘱する参与

|                |             |        |    |
|----------------|-------------|--------|----|
| 福岡県医師会         | 会長          | 松田 峻一良 | 再任 |
| 福岡県看護協会        | 会長          | 大和 日美子 | 新任 |
| 福岡県薬剤師会        | 副会長         | 神村 英利  | 再任 |
| 福岡県歯科医師会       | （同会が推薦する者）  |        |    |
| 福岡銀行           | 公務金融法人部長    | 成瀬 岳人  | 再任 |
| 西日本シティ銀行       | 法人ソリューション部長 | 北村 啓   | 再任 |
| 福岡県弁護士会        | 弁護士         | 井上 正義  | 新任 |
| 日本公認会計士協会北部九州会 | 公認会計士       | 中西 裕二  | 再任 |
| 西日本新聞社         | 編集委員        | 井上 真由美 | 新任 |

（委嘱期間：令和3年6月30日まで）

注）福岡県歯科医師会については、同会からの推薦を待って、五役会での検討を経て被推薦者に委嘱。

# 済生会福岡総合病院ハートチームによる経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVR）の開始について

## 臨床

済生会福岡総合病院救命救急センター  
副センター長 兼 循環器内科部長

大井 啓司

### 1. はじめに

当院は経カテーテル的大動脈弁置換術（TAVR）関連学会協議会の承認を受け、2019年3月28日にTAVR実施施設となりました。福岡市内では九州大学病院、福岡和白病院に続き3番目に認定されたことになります。

開胸手術が困難な大動脈弁狭窄症（AS）に対する代替療法として始まったTAVRですが、最近では手術中等度リスク、低リスクの患者さんにおいても有効性が報告されてきており、近い将来、高齢者のAS患者に対する治療の第一選択になる可能性があります。

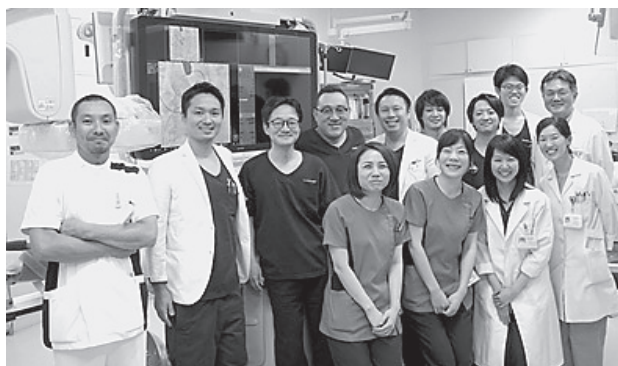
地域の基幹病院として、必要とされる新たな治療法を率先して提供する使命がありますが、その際、いかに安全かつ確実に治療を導入するかが重要と考えられます。

TAVRの現状と当院でのTAVR治療立ち上げの取り組みについてご報告いたします。

### 2. TAVRの現状

TAVRの世界最初の治療（First-in-man）が2002年、本邦での保険償還が2013年10月と新しい治療ですが、外科的大動脈弁置換術（SAVR）の代替療法として世界的に広がりを見せています。現在、本邦では手術困難あるいは高リスク症例のみの適応ですが、前述のように世界的にはより低リスクの患者に広がってきており、今後、より多くの患者さんがTAVRの恩恵を受けることができるようになると思われます。

2013年の本邦導入時の世界の初期成績は30日死亡率5～10%であり、左室穿孔や弁輪破裂な



どのTAVR特有の合併症は致命的になることが危惧されていましたが、2013年以降の本邦の成績は30日死亡率2%弱と良好であり、その後のデバイス改良も進み、より安全に施術が可能となってきています。

現在のTAVRの問題点としては、術中の致命的合併症の他に植え込んだ人工弁の弁周囲逆流や永久ペースメーカー植え込み術を要する伝導障害がSAVRより多いことが挙げられますが、デバイスや植え込み方法の進歩により改善傾向にあります。

人工弁の耐久性に関しては、TAVR弁の10年を超える長期耐久性のデータはありませんが、これまでの後ろ向きの検討からは、現在の生体弁と同等の耐久性が期待でき、高齢者を対象としている間は問題にはならないと考えられます。

また、デバイスの費用が生体弁を用いた外科的大動脈弁置換術より高価であることから、医療経済を背景とした費用対効果の問題も検討されていますが、最近の報告ではSAVRと比較し入院期間が短いこと、術後の再入院が少ないこと等からTAVRが費用対効果の面でも有効であることが示されています。

低侵襲治療かつ、手技の安全性や確実性が高まり、術後の合併症や再入院も少ないとなると、本

治療はこれまでのカテーテル治療では成し得なかった、外科手術を凌駕する歴史を変えた治療と言えるかもしれません。

### 3. 当院TAVRハートチームの立ち上げ

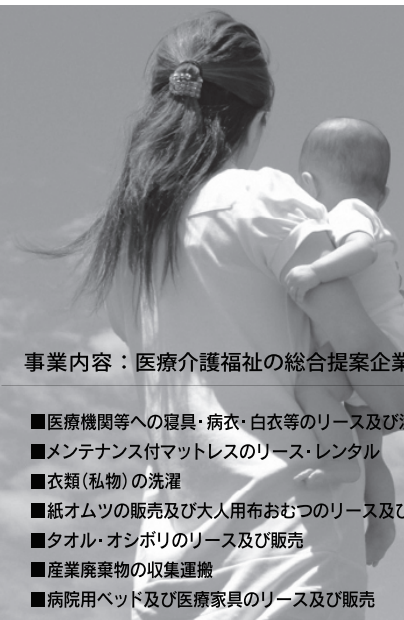
TAVRの実施施設認定にあたり、要求された条件としては、施設の開心手術やカテーテル治療の症例数と成績、エコーの検査数等の基準がありますが、特に重要視されたものは、「内科、外科、麻酔科医師、各部署の看護師、放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、心臓リハビリ士を含めたハートチームを作り、そのチームが機能すること」が挙げられました。当院は以前から心臓血管・大動脈センターとして、各科の垣根を超えた協力体制が出来上がっており、大きな障害はなかったのですが、全員が集合してカンファレンスや実際の手術予行練習を行うことは容易ではなく、働き方改革の流れに反して、時間外に集まることも多々ありました。問題点はいくつかありましたが、その度毎に、チーム全員が意見を出し合い、行動し解決することが出来ました。

手術に関わる医師だけでなく、それぞれの職種の担当者が非常に高いモチベーションを持ち、労を惜しまず協力できたからこそ前に進めた場面もありました。

実施施設認定後もチームで研修トレーニングを受講し、初症例まで手術予行練習を繰り返し行いました。最初の8～16例は他施設からの指導医のもと、実際の治療を行うことが義務付けられており、現在は1症例1症例を皆で一生懸命に治療に当たらせていただいております。

### 4. おわりに

近年、循環器領域だけでなく癌領域、地域医療、周術期、周産期、緩和ケア等でチーム医療が進められてきており、チーム医療は病院機能として益々重要になってくると考えられます。今回のTAVR治療の導入を経験して、院内での横断的な多職種からなるチーム医療を有効に機能させるには、病院職員全体の理解と協力、担当者のモチベーションをどう保つかがますます大事になってくると実感する次第です。



## 「安心・安全・清潔」 未来を見つめて...

**太陽セランドグループ**

**太陽セランドホールディングス株式会社**  
〒812-0044 福岡市博多区千代1-1-5 TEL 092-641-2578 FAX 092-641-5778

**太陽セランド株式会社**  
〒826-0042 福岡県田川市大字川宮1200 TEL 0947-44-1847 FAX 0947-44-5805

代表取締役 **中島 健介**

**太陽セランドグループ会社**

|                  |                                  |                                   |
|------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| 太陽シルバーサービス株式会社   | 〒838-0814 福岡県朝倉郡筑前町高田585-1       | TEL:0946-21-4700 FAX:0946-21-4701 |
| ジャパンエアマット株式会社    | 〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-1-5       | TEL:092-641-5085 FAX:0946-21-4701 |
| 太陽ホテルリネン株式会社     | 〒812-0063 福岡県福岡市東区原田4-17-25      | TEL:092-624-1321 FAX:092-624-1323 |
| 株式会社メディカルナビケーション | 〒812-0044 福岡県福岡市博多区千代1-1-5       | TEL:092-651-0700 FAX:092-641-2672 |
| 株式会社セランド         | 〒802-0979 福岡県北九州市小倉南区徳力新町1-25-22 | TEL:093-961-0581 FAX:093-961-0009 |
| 株式会社北九州シーアイシー研究所 | 〒826-0042 福岡県田川市大字川宮1200         | TEL:0947-46-2029 FAX:0947-46-2101 |
| 株式会社おたく屋         | 〒826-0042 福岡県田川市大字川宮1200         | TEL:0947-42-3215 FAX:0947-42-3217 |
| 株式会社サンウエックス      | 〒826-0042 福岡県田川市大字川宮1200         | TEL:0947-46-1508 FAX:0947-42-5445 |

**事業内容：医療介護福祉の総合提案企業**

- 医療機関等への寝具・病衣・白衣等のリース及び洗濯
- メンテナンス付マットレスのリース・レンタル
- 衣類(私物)の洗濯
- 紙オムツの販売及び大人用布おむつのリース及び洗濯
- タオル・オシボリのリース及び販売
- 産業廃棄物の収集運搬
- 病院用ベッド及び医療家具のリース及び販売
- テレビ・ランドリーのリース及び販売



# 脚気論争 (16)

国立病院機構 九州がんセンター 名誉院長 岡村 健

## 20. 英国医学とドイツ医学；ドイツ医学導入の真相

### 9) ドイツ医学導入の検証

#### ① 検証の意義

なぜドイツ医学導入を検証するのか。ドイツ医学導入の契機は、岩佐純（越前福井藩）と相良知安（肥前佐賀藩）の医学校取調御用掛の任命にある。相良の任命は蘭医ボードウインの新政府への訴えを処理することが主たる目的だった。そうであれば、ボードウインの愛弟子である相良に、そのような任務を与えたのが果たして妥当だったのだろうか。疑問である。というのも、相良は司馬遼太郎から「異常な情熱家」と評され、「剽悍凶暴、眼中人なき人物」と言われている（山口梧郎著「長谷川泰先生小伝」）。そんな彼は、当然、恩師ボードウインの意向に沿って、脇目も振らず熱心に活動するだろう。しかも彼の背後には蘭医ポンペとボードウイン、そして佐倉順天堂・佐藤尚中一門という旧幕府側の大きな支持勢力が存在していたのである。これらのことから、相良がこの任を与えられた時点で、ドイツ医学導入への道筋が開かれたとも言えるからである。

一方、新政府側、特に薩摩には西洋外科に熟練した医師が少なかった。したがって、東北戦争では佐倉順天堂・佐藤尚中一門に官軍の傷病兵の治療を委ねざるを得なかった。これらの情勢で流れが決まり、相良は東京医学校雇用というボードウインとの約束は果たせなかったが、ウィリスを排除し、東京医学校に導入する医学を英国からドイツに変えた。これも、相良が医学取調御用掛に任命されたことを契機とした、時代の流れの必然的な結果と言える。

ただ、相良の任命は、友人岩佐の推薦による。

岩佐が推薦した理由は、相良が蘭医ボードウインの愛弟子だったからである。その岩佐に話があったのは太政官参与・後藤象次郎（土佐）からだが、それは岩佐が全国に名を知られた優れた蘭方医だったため、天皇から侍医の内命が下ったからである。このように見てくると「歴史は必然性の連続であって、歴史にもしも…ということはあり得ない」と感じざるを得ない。

しかし、日本政治外交史の専門家・奈良岡聡智氏（京都大学大学院法学研究科教授）は歴史観を磨く意義について次のように語っている。

「歴史に『if』はないとよく言われますが、あるんだと思います。歴史というものは必然で進んでいるのではなく、様々な可能性があって、その中から主体的に政治家なり国民が選んで進路を進む場合もあれば、災害や戦争のように偶然によって進むこともあります。今の姿が必然、不可避だったと考えるのは正しくありません。過去のある時点で、国家、社会が置かれていた状況を客観的に提示することが歴史家の役割の一つであり、それをよく吟味することで、我々は未来を見通すことができるのです」（「平成の終わりに歴史観を磨くことで未来を見通す」Wedge5月号2019年）

私は歴史家でもない。また歴史観を磨くという高尚な意識で執筆しているわけでもない。ただ、大学受験失敗の経験から、何につけても「なぜ？ どうして？」と疑問に思うことが性分になってしまった。陸軍の脚気惨害はなぜ起きたのか。ドイツ医学と関係があるのか、ないのか。関係があるとすれば、どんな関係なのか。単にそれらの疑問を少しでも解消しないと気が済まないだけである。

#### ② ドイツ医学と英国医学の差異

##### —ドイツ医学の問題点

当時ドイツ医学が学術・研究面に於いては世界のトップレベルであったことに異論はない。明治

政府がドイツ医学導入を決定したのも、この時代背景の中では、理解できる。ただ、ドイツ（プロイセン：独、プロシャ：英）では、医学校（大学）が主で病院は従とする制度だった。そのため、医学の理念・目標が学理探求のための研究となり、実地臨床医学が軽視されてしまった。

一方、英国では病院が主で医学校は従とされ、患者を治療するための臨床（ベッドサイド）教育が徹底された（本誌 2019 年 1 月号）。英国医学を学んだ高木兼寛は海軍の脚気予防を成功に導いた。その理由を二つ挙げ、その一つが軍医教育の重要性である。高木は陸軍のドイツ医学に潜む問題点を暗に指摘していたのである（本誌 2018 年 12 月号）。

明治 8 年 1 月、英国医学派の坪井芳洲と石井信義は英医タナーの内科書を翻訳した共著「丹氏医療大成」を発刊した。同派の島村鼎甫はその著書の「序」にドイツと英国の違いを記した。「ドイツの医師は病を研究室で究明しようとするが、英国医師はベッドサイドで患者を診て、その症候から病を探る」（本誌 2019 年 6 月号）。この頃は明治 4 年 8 月から同 8 年 12 月までドイツ人医師、ミュレルとホフマンが初めて来日し、大学東校で教鞭をとった時期である。ドイツ医学導入が始まったばかりの頃である（東京帝国大学医学部の発足は明治 10 年 4 月）。島村は、この時期、既にドイツ医学に潜む問題点を鮮明にしていたのである。

ドイツ人医師ベルツは、明治 9 年から同 38 年まで東京帝国大学医学部（東京帝大医と略す）で教官を務め、勲一等旭日大綬章を受章したが、明治 35 年第 1 回日本医学大会の講演で次のように指摘した。「ドイツでは、医学の学問をあまりにも強調しすぎて、実際の経験を等閑視し過ぎた」（本誌 2019 年 1 月号）。ベルツは島村の指摘が歴史的にどんな結果を招いたのかを、図らずも証言したのである。

北里柴三郎もドイツ医学の問題点を感じていたのだろう。彼はドイツ医学の牙城、東京帝大医卒である。ドイツ留学でコッホに細菌学を学び、世界的名声を博した。しかし、恩師・緒方正規の脚気菌発見を否定したため（後に北里の意見が正しかったことが判明する）、同大学から激しく批判され、東京帝大医学部人事から排除された。それでも、福澤諭吉の援助を得て、私立伝染病研究所

（後の国立伝染病研究所）を設立し、ペスト菌発見の偉業を挙げる。北里は大正 6 年、慶応大学に医学部を設置した。その時彼は「基礎医学と臨床との密接な連携の必要性」を強調した。基礎医学重視のドイツでもなく、かといって臨床医学の英国ということでもなく、両者の長所を生かせる医学制度を提唱している（安田健次郎著「西洋医学の伝来とドイツ医学の選択」）。

### ③ 陸軍の脚気惨害の原因はドイツ医学にあるのか？ あるとすれば何が問題なのか？

本誌 2018 年 12 月号から半年間、ドイツ医学導入の経緯をつぶさに調べてみた。明治維新という歴史の大きな変革の中で、各勢力の思惑・利害のバランスを取るような決着となったことは理解できた。また、ドイツ医学の問題点として、大学での学問研究が主で実地臨床を軽視していたことが明らかとなった。

しかし、陸軍の脚気惨害はドイツ医学の問題、つまり大学が主で附属病院が従ということが原因なのだろうか。もしそうだとすれば、なぜ、その問題が陸軍の脚気惨害を生じさせたのだろうか。そして、最大の疑問は、福澤諭吉の言葉「**医学の範をドイツに採るがごときは、人の子を毒するもの**」である。なぜ福澤はこのようにドイツ医学を酷評したのか。本項の執筆中、この疑問がずっと引っかかって、頭の隅から離れなかった。このままでこの項を終えることはできない。眠りに就いても、この疑問がいつも夢に出てきては、解けないまま眠りから覚めていた。

単にドイツ医学と英国医学の違いが明らかになったとしても、問題の原因や本質は見えない気がする。それを解く鍵を見つけるため、ドイツ医学派と英国医学派はどんな経歴の医師たちだったのか、さらにドイツ医学の陸軍内部で、非麦飯派と麦飯派の軍医たちはどんな経歴の人物だったのかを、再度振り返って、まとめてみた（図 1）。

まず、ドイツ医学派の相良、岩佐、関、赤川、橋本綱常らは松本良順の旧幕府医学所一門、佐倉順天堂・佐藤尚中一門である（本誌 2019 年 5 月号および図 1）。彼らに共通するのは、幕府の長崎医学伝習所で蘭医ポンペやボードウィン、あるいは松本良順や佐藤尚中に医学を学んだこと、各藩を代表する藩医だったこと、そのためか適塾一

| ドイツ医学派     |                                 |                         |                                          |                                                      |
|------------|---------------------------------|-------------------------|------------------------------------------|------------------------------------------------------|
| 氏名         | 出身                              | 幕府長崎医学伝習所               | 幕府医学所                                    | 医学の修練                                                |
| 松本良順       | 幕府、御典医                          | ポンペ                     | 頭取                                       | 佐倉順天堂・佐藤泰然の次男                                        |
| 佐藤尚中       | 佐倉藩                             | ポンペ                     |                                          | 佐倉順天堂・佐藤泰然の養嗣子                                       |
| 岩佐 純       | 福井藩                             | ポンペ、ボードウィン              |                                          | 佐倉順天堂・佐藤尚中に学ぶ                                        |
| 相良知安       | 佐賀(肥前)藩                         | ボードウィン                  |                                          | 佐倉順天堂・佐藤尚中に学ぶ                                        |
| 関 寛斎       | 徳島(阿波)藩                         | ポンペ                     |                                          | 佐倉順天堂・佐藤泰然に学ぶ                                        |
| 佐藤 進       | 佐倉藩                             | (ドイツ留学)                 |                                          | 佐倉順天堂・佐藤尚中の養嗣子                                       |
| 赤川玄樸       | 長州藩                             |                         |                                          | 佐倉順天堂・佐藤尚中に学ぶ                                        |
| 橋本綱常       | 福井藩                             | ポンペ、ボードウィン              | 松本良順に学ぶ                                  | 佐倉順天堂・佐藤尚中に学ぶ                                        |
| 陸軍・軍医の非麦飯派 |                                 |                         |                                          |                                                      |
|            | 出身                              | 幕府医学所                   | 医学の修練                                    |                                                      |
| 石黒忠恵       | (父は幕府奥州代官)両親没後、越後の石黒家(叔母の婚家)へ養子 | 松本良順に学ぶ                 |                                          |                                                      |
| 小池正直       | 鶴岡(庄内)藩医の長男                     |                         | 大学東校(佐藤尚中・大博士)ドイツ留学                      |                                                      |
| 森 林太郎      | 津和野(長州)藩医の長男                    |                         | 第1大学区医学校・池田謙斎(総理)、長与専斎(総理心得)ドイツ留学        |                                                      |
| 英国医学派      |                                 |                         |                                          |                                                      |
|            | 出身                              | 福澤諭吉との関係                | 幕府医学所                                    | 医学の修練                                                |
| 坪井為春(芳洲)   | 米沢藩郷医→薩摩藩医(島津斉彬に招聘)             |                         | 教授(薬剤学)                                  | 坪井信道・日習堂に学ぶ(緒方洪庵も同門)。英医タナーの内科書「丹氏医療大成」石井信義と共著翻訳      |
| 島村鼎甫       | 岡山藩医→徳島藩・阿波侯の侍医                 | 適塾では福澤の3年先輩             | 教授(生理学)                                  | 適塾 英医タナーの内科書「丹氏医療大成」石井信義と共著翻訳の翻訳と序                   |
| 石井信義(謙道)   | 勝山藩(岡山)                         | 福澤と親交あり、島村とは特に親しい、      | 教授(病理学)                                  | 適塾・塾頭 英医タナーの内科書「丹氏医療大成」石井信義と共著翻訳(洪庵より英語を学ぶよう薦められていた) |
| 陸軍・軍医の麦飯派  |                                 |                         |                                          |                                                      |
|            | 出身                              | 薩摩や洪庵との関係               | 陸軍経歴                                     | 医学の修練                                                |
| 土岐頼徳       | 美濃国(岐阜)医師・高井松亭の長男               | 恩師・坪井芳洲が薩摩藩公・島津斉彬の侍医となる | 石黒忠恵・医務局長の麦飯支給禁止命令を糾弾、抗議。罷免される           | 坪井芳洲に学ぶ                                              |
| 石坂惟寛       | 岡山藩                             |                         | 寺内陸軍大臣により陸軍医務局長に任命(短期間)                  | 適塾                                                   |
| 堀内利国       | 田辺藩(京都)                         | 緒方洪庵の娘婿、緒方惟準の義弟         | 大阪病院で蘭医ボードウィンに学ぶ、大阪陸軍病院長となる、麦飯支給で脚気予防に成功 | 佐倉順天堂・佐藤尚中に学ぶ                                        |
| 緒方惟準       | 緒方洪庵の嫡子(次男)                     | 堀内利国の義兄                 | 陸軍近衛師団軍医長時代、麦飯支給を主張するも石黒医務局長の反対に抗議し辞表提出  | 蘭医ボードウィン、ドイツ留学                                       |

図1 ドイツ医学派・陸軍非麦飯派と英国医学派・陸軍麦飯派の比較



門ではなかったこと、あるいは適塾との関係が薄かったことである。

一方、英国医学派は石神ら英医ウィリスに学んだ薩摩藩の藩医である。また、本誌 2019 年 6 月号の 7) ⑤で述べたように、英国医学派の坪井芳洲は幕府医学所時代から教授を勤め、東京医学校でも教官だった。彼は薩摩藩公・島津斉彬に招聘されて薩摩藩医となっており、薩摩との関係が深い。また坪井信道・日習塾一門で緒方洪庵と同門である。島村鼎甫も幕府医学所時代から東京医学校でも教官だった。彼は適塾で学んでおり、福澤諭吉と親交がある。石井信義も幕府医学所時代から東京医学校でも教官を勤めているが、適塾で学び、塾頭にまでなっている。福澤諭吉とも親交があり、島村とは特に親しかった。島村と石井は緒方洪庵と同郷の岡山藩出身である。このように、英国医学派は坪井信道・日習塾一門あるいは、適塾一門で緒方洪庵とは密接な関係がある人物たちである（図 1）。

次に陸軍での非麦飯派と麦飯派の軍医の経歴を比較してみよう。

非麦飯派の巨頭・石黒忠恵（陸軍軍医総監、医務局長）は幕府代官の嫡子で、松本良順（初代陸軍軍医総監）に学んでいる。彼は、東京医学校の英国医学対ドイツ医学導入をめぐる抗争時はドイツ医学派・相良知安の配下だった。小池正直は鶴岡（庄内）藩医の嫡子であり、東京帝大医の前身・大学東校（佐藤尚中・大博士）に学び、ドイツに留学している。森 林太郎は津和野（長州）藩医の嫡子で、東京帝大医の前身・第 1 大学区医学校で学び、ドイツへ留学している。彼ら非麦飯派は松本良順や佐藤尚中と密接な関係があり、幕府側の官吏あるいは藩医の家系（嫡子）である。薩摩や緒方洪庵、適塾との関係はない。

一方、陸軍の麦飯派・土岐頼徳は、石黒忠恵・医務局長の麦飯給与禁止令に激しく抗議した（本誌 2018 年 6, 7 月号）。彼は薩摩藩医・坪井芳洲に医学を学んでいる。石坂惟寛は寺内陸軍大臣から石黒忠恵・医務局長辞任（事実上の罷免）後、後任に任命されたが、短期間（10 ヶ月）で自ら辞任した（本誌 2018 年 7 月号）。彼は岡山藩出身で適塾一門である。堀内利国は大阪陸軍病院時代、麦飯支給で脚気の予防に成功する（本誌 2018 年 5 月号）。彼は佐藤尚中に医学を学んでいるが、

緒方洪庵の娘婿、緒方惟準の義弟であり、緒方家と密接な関係がある。緒方惟準は蘭医ボードウィンに推薦されてドイツ留学した。惟準は陸軍近衛師団軍医長の時、義弟の堀内利国が大阪陸軍病院で麦飯給与によって脚気予防に成功したのを知って、近衛師団でも麦飯給与で脚気予防を成功させた。彼は、陸軍全体で麦飯給与を主張したが、石黒医務局長に猛反対され、陸軍・軍医を自ら辞職した（本紙 2018 年 5 月号）。もちろん彼は、緒方洪庵の次男（嫡子、長男は早世）である。このように陸軍軍医・麦飯派は坪井芳洲あるいは緒方洪庵と関係の深い人物たちである。

図 1 をよく見て頂きたい。ドイツ医学派と英国医学派の人物像の違いが明確になってくると思う。ドイツ医学派は徳川幕府との関係が深く、藩公の侍医で官吏としての性格が強い。陸軍軍医の非麦飯派はその流れを汲む人物たちである。一方、英国医学派は坪井芳洲や緒方洪庵に薫陶を受けており、非徳川幕府あるいは民間的性格（私塾・町医者）が強い。陸軍軍医・麦飯派もドイツ医学と関係はあるものの、坪井芳洲や緒方洪庵・適塾（私塾）と関係の深い人物たちである。前述のように坪井芳洲と緒方洪庵は坪井信道・日習塾（堂）一門である。

坪井信道は、美濃国（岐阜）出身（祖先は織田秀信「信長の嫡孫」の家臣）で、江戸の蘭方医・宇田川榛齋（玄真）に学び、深川木場三好町で医家を開業。洋学塾「日習堂」を開いた。宇田川榛齋に入門前、同門の広島の中井厚澤で学び、一年半ほど下関で開業していた。その縁からだろう、後に長州藩の藩医に招聘される（中貞夫著「洋学者 坪井信道」弘学社 昭和 18 年 国立国会図書館デジタル資料）。坪井信道も非徳川幕府、民間的性格（私塾・町医者）の蘭方医である。

このように英国医学派と陸軍麦飯派のルーツをたどれば坪井芳洲や緒方洪庵という人物に行き着く。特に緒方洪庵との関係が深い。ドイツ医学派・陸軍非麦飯派と異なるのは、英国医学派・陸軍麦飯派に緒方洪庵が精神的支柱の如く存在することである。そこで緒方洪庵とはどのような人物だったのか。かつての人気 TV ドラマ「仁」で武田鉄矢が演じていた。ご存知と思うが、本稿をご理解いただくため、概略を述べる。（次号）



## ●福岡県私設病院協会・福岡県医療法人協会プラザ

### 令和元年6月福岡県私設病院協会の動き

#### ◎看護部長会運営委員会

日 時 6月7日(金)午後3時

場 所 協会会議室

議 題

#### 1. 協議事項

- (1) 11月研修会について
- (2) メンタルヘルスについて
- (3) 情報交換について
- (4) その他

#### 2. 報告事項

- (1) 前回議事録について
- (2) 私設病院協会研修会について
- (3) 私設病院協会4月～5月の動き

(2) 行政等団体委員、役員推薦について

(3) 研修会について

(4) 地域医療構想について

(5) 名義後援について

(6) 令和元年度急患診療協力機関との懇談会開催について

(7) 職員の賞与について

(8) 第25回参議院議員通常選挙(福岡選挙区)候補者の推薦について

(9) 令和元年度協会定時総会・懇親会報告

(10) その他

#### 3. 報告事項

(1) 私設病院協会

(2) 看護学校

(3) 医療関連協業組合

(4) 全日病・日慢協・日医法人協、他連絡

(5) その他

#### ◎広報委員会

日 時 6月11日(火)午後3時45分

場 所 協会事務室

議 題

#### 1. 福私病ニュースの編集について

#### 2. その他

#### ◎理事会

日 時 6月11日(火)午後4時

場 所 協会会議室

議 題

#### 1. 会長あいさつ

#### 2. 協議事項

- (1) 会員異動について

#### ◎研 修 会

日 時 6月20日(木)午後3時

場 所 アクロス福岡7階 大会議室

演 題 「診療報酬改定 ～2019年10月改定と2020年改定に関して～」

講 師 (一社)日本医療法人協会 副会長  
(社会医)名古屋記念財団 理事長

太田 圭洋 氏

参加者 89施設 169名

## 時事管見 ～日本版不都合な真実～

国立病院機構九州医療センター 名誉院長 朔 元 則  
学校法人原学園看護専門学校 名誉校長

### 2000 万円問題

本稿が上梓される頃には参議院選挙も終了して、ほとぼりが醒めてしまっているかも知れないが、今夏の通常国会の終盤を賑わした所謂 2000 万円問題、よく考えれば考えるほど腹立たしくなる。

6 月 3 日金融庁傘下の金融審議会が「高齢者夫婦の老後の生活において、公的年金だけでは毎月約 5 万円不足という計算になる。95 歳まで生きると仮定すれば約 2000 万円の金融資産が必要である…」という報告書を提出した。報告書の要点を判り易く表現するとすれば、「長生きする可能性があるなら、公的年金だけでは不足するから若いうちから老後資金のための資産を作っておいた方が良いですよ…」ということであろう。

この報告書の内容が新聞紙上で公表されると、「年金だけでは暮らせないということか？ 安倍政権が公言していた 100 年安心という言葉は嘘だったのか…」とここぞとばかりに野党が政権追及に乗り出した。間近に迫った参院選への絶好のアピール材料となったのである。これに慌てふためいた麻生太郎金融担当相は「政権のスタンスと異なる報告書は受け取らない」と前代未聞の行動に出たのである。審議会を作って諮問しておいて、その答申内容が政府の方針と異なるから答申を受け取らないなどという馬鹿げた行動が許されるのであろうか？

国民が求めているのは、審議会が長い時間をかけて（8 ヶ月間に 12 回の会議）まとめた答申を真摯に検討し、今後の政策に反映させて貰いたいということである。選挙に勝つために都合の悪い真実からは目を逸らして、ただただ建前論と揚げ足取りの応酬に終始する国会討論の現実を見てい

ると、「政治の貧困」という言葉で簡単に済まされるようなことではないという気がしてきた。この問題、「図らずも民主主義の根本的欠陥を露呈してしまった」と言ったら言い過ぎであろうか？

### 審議会、有識者会議というもの

さてここで全く観点を变えて、この報告書をまとめた審議会について考えてみたい。公表されている委員の顔ぶれを見ると、投資信託会社やフィナンシャルプランニング会社の役員など、国民の投資活動の活発化を期待したい立場の人たちがずらりと並んでいる。

報告書が語っているのは「長生きしたらお金が不足するから、若いうちから（退職金が入った時点で）NISA（少額投資非課税制度）や iDeCo（個人型確定拠出年金）等に投資して資産を作っておきなさい」という投資の薦めである。投資に全く興味がない（余裕もない）私には、NISA も iDeCo も全く初耳であったが、見方を変えればこの報告書は金融庁の管轄下にある銀行や証券会社の営業活動に対する応援文書であると断ずることも出来るのではないだろうか。当然のことがら金融庁は報告書の内容を熟知（主導？）していた筈であるし、麻生大臣も報告書が問題になる前は、「百歳まで生きる前提で退職金を計算してみたことはあるか？」と例の調子で報道陣に語りかけていたという噂もある。投資活動を促進させ、年寄りの筆筒貯金を吐き出させて経済を活性化させたいという政府の意図が見え見えであろう。

すべての審議会、有識者会議がそうであると断言する訳ではないが、私自身の小さな経験について語ってみたい。私は九州医療センターを退職間もない 2009 年（平成 21 年）に厚生労働省の「チーム医療の推進に関する検討会」の委員を務めた経

験がある。委員の顔ぶれは、座長の東大病院長のほか、日本医師会常任理事、薬剤師会、看護協会、看護大学、医学部の代表者など総勢 19 名であった。私に白羽の矢が立ったのは国立病院 OB で、現職が民間の看護専門学校の校長という立場からのものであろうと推測している。2009 年 8 月から翌年の 3 月までの約 8 ヶ月間に計 11 回の会議（今回の金融庁の審議会とほぼ同様である）が開催された。月に 2～3 回、週日の午後に霞が関まで出掛けなければならず、結構大変であった。

検討会は「特定看護師制度を設立したい」という厚労省の方針に沿って進められたが、特に与野党の利害が対立するような問題ではなく、予算規模も小さな政策であったためメディアの注目を浴びるようなことは全くなかった。しかしそれでも毎会合、厚労省側は医政局長以下審議官、総務課長、医事課長、看護課長が出席し、傍聴席（医療関係の雑誌、新聞の記者達は毎回必ず出席していたように思う）まで設置されている物々しさであった。各委員の発言は一言一句まで記録されて議事録として残されるので（公表前に各自に必ず文書で確認が取られた）何となく迂闊に発言できなかったことを記憶している。この検討会の後に答申が出され、特定看護師制度が出来上がったのは周知のことである。

「苦勞して作成した答申書の受け取りを担当大臣から拒否されても、審議会の委員から激怒の声が挙がらない」と不思議に感じておられる読者の方も少なくないと思うが、このような事情を考えればそれも首肯出来るのではないだろうか…。

## 人口動態からみた日本の近未来像

金融審議会の報告書と全く時を同じくして、6 月 6 日に厚労省から 2018 年の日本の人口動態調査の結果が公表された。報告によると、2018 年の出生数は 91 万 8397 人で前年と比較すると 2 万 7668 人の減少ということである。これに対し死亡者数は 136 万 2482 人（前年比 2 万 2085 人増）で人口の自然減少数は 44 万 4085 人となる。減少数が 40 万人を超えたのは、今回が初めてということであった。

合計特殊出生率（1 人の女性が一生の間に産む子供数）は 1.42 でこれもここ数年減少し続けている。出生率は終戦間もない 1947 年（昭和 22 年、団塊の世代のピークの年である）は 4.54 であったから、実に 3 分の 1 以下に低下しているのである。出生率が 2.00（厳密には 2.07）以上でなければ現在の人口は維持出来ないということは自明のことであるから、将来の日本の人口減少は確実である。

これに対して高齢化は確実に進行している。私が大学を卒業した 1963 年（昭和 38 年）の百歳以上の人口は僅か 153 人であったのが、2018 年は 6 万 9785 人となっている。55 年前と比較すると百寿者の数が実に 456 倍という凄まじい高齢社会の姿が現実のものとなっているのである。人口問題研究所は、20 年後の 2040 年日本の総人口は 1 億 1092 万人になると推計しており、2015 年と比較すれば 1618 万人の減少となる。これは東京都の人口より多い数である。しかも単なる人口減少だけではないのである。65 歳以上の人口は 2015 年 3387 万人であったものが、2040 年には 3921 万人と逆に 534 万人も増加すると考えられている。

少子化の進行と併行して高齢化が否応なしに進行していくのであるが、天から年金が降ってくる事はない。日本の国土から石油が湧き出てきたり、レアアースや金の大鉱脈が発見される可能性も限りなく零に近い。どう楽観的に考えても現在の日本の年金制度が維持出来る訳はないのである。政府与党は勿論のこと、野党の議員諸氏もこのことは十二分に認識しておられる筈である。マスメディアも評論家の皆様も、そして国民の大多数もそのことには気づいていると私は確信している。

今更言うまでのこともないが、本稿のタイトルは地球温暖化に警鐘を鳴らし続けている Al Gore 元アメリカ副大統領の著作 An Inconvenient Truth から借用したものである。令和という新しい時代、「この日本版不都合な真実」を単なる目先の政争の具とするのではなく、国民のすべてが正面から向き合って、真摯に考えていくべきではないだろうか…。

## ズボンとパンツ

元 医療法人誠十字病院 安田 宏一  
平衡神経科 医師

友人が、ドイツの大学病院にいたときのことである。診察で患者さんに、「服をぬいでください」と言った。すると患者さんが、「パンツもですか」と聞いたので、あわてて「いやいや、パンツはけっこうです」と答えた。あとで考えると、友人は日本の下着のパンツをイメージしたのだが、患者さんはズボンのつもりだったようである。

この話に興味をもった。最近では女性のズボンのことを、パンツと呼んでいる。また、すその広がった、女性用のおしゃれなズボンを、パンタロンと言う。家にあるいくつかの辞書でパンツを引くと、第一義がズボンであった。第二義に、短かい下ばき、さるまたとある。「さるまた」とは、また懐かしい言葉である。

日本人が、パンツという名でなじんでいたのは、英語のトランクス trunks で、ボクシングの選手がつけている型のものである。最近は身体にぴったりフィットす

る、ブリーフ briefs が流行りである。これは水泳の選手の履くタイプである。わたしも、デパートに買いに行く際に、「パンツと言わないように、ブリーフと言うのだぞ」と、頭にきざんで行く。

では「ズボン」はどうなんだと、「カタカナ語辞典」(小学館)で調べてみた。ところが、ズボンの言葉の由来が、わからないという。英語は trousers、米語では pants、フランス語では pantalon である。パンタロンは特別なものではなく、フランス語で単にズボンであった。

石鹸のことをシャボンという。ザボン(大きな柑橘類)、ジュバン(肌着)、これらは、ポルトガル語が日本語化したものである。ズボンも響きが似ている。ズボンもポルトガル語ではないだろうか。

このドイツでの話は、徳永修氏からうかがったものです。



Norman Rockwell 「泳ぐべからず」



# 人体旅行記 腰（その一）

国立病院機構 都城医療センター 吉住 秀之  
副院長

股から腰に到着すると下半身の旅程を終えたことになります。腰は上半身と下半身の接合点であり、腰つきが定まらない<sup>1)</sup>と人の立ち居振る舞いが始まりませんから、まさに肝心「要」の要所であります。

古来細くてしなやかな腰つきは美人の条件とされ、柳の枝になぞらえて「柳腰」と称されました。例えばお隣の中国では春秋時代の楚の靈王は、腰つきのほっそりした美人を寵愛したため、宮中の女性たちが一斉にダイエットに励み腰を細くしようとしたとい故事から柳腰のことを楚腰ともいいます。唐の詩人の杜牧(803～853年)は「遺懷」という七言絶句で

落魄江湖載酒行

江湖に落魄して酒を載せて行く

楚腰纖細掌中輕

楚腰纖細にして掌中輕し

十年一覺揚州夢

十年一たび覺む揚州の夢

贏得青樓薄倖名

贏<sup>か</sup>ち得たり青樓薄倖の名

と、遡ること十年前に赴任先の揚州の歓楽街で遊んだ柳腰の美人（というより美人の柳腰）を酒に酔っては思い出し詠嘆しています<sup>2)</sup>。腰というのは、人を追憶するときにも肝心要の場所のようです。

1) 支点が定まらない様を、及び腰とか浮き腰、へっぴり腰などと表現します。ただ尻をするときにおまえは上体をかがめて尻を後ろにつきだしてしているかと言われるとそうではないので、これは尻をする場面ではないときに尻をしそうになったときに思わず後ずさりしそうになる姿勢を表現したものでしょう。

2) 彼はいいところのお坊ちゃんてキャリア官僚の道を目指して各地を異動しつつ詩作も嗜みますが、派閥闘争に負けてしまいます。かなりのイケメンだったようで、赴任先の揚州で「風流の限り」を尽くしたそうです。この詩を元ネタにして于鄴<sup>うぎょう</sup>という小説家は、浮名を流した杜牧のことを『揚州夢記』という小説に書いていて、またこれがネタになって元代の喬孟符<sup>きょうもうふ</sup>は『揚州夢雜劇』を、さらに清代の瞿永仁<sup>けいえいじん</sup>は『揚州夢』という戯曲を創作しています。実在の貴公子のロマンスというのは、いつの時代にも作家の創作欲をかき立てるのでしょうが、それにしても十年前の美人を思い出すのに顔ではなくて、抱いたときのほっそりした腰の感触だということのもなんといいのやら。

## 医者の不養生とスポーツジム通い

国家公務員共済組合連合会  
浜の町病院 副院長

瀬尾 充

手元のスポーツジムの会員証をみると入会日は2006年10月16日となっている。スポーツジムに通うようになって、気が付くと、はや13年もたっていた。

ジムに入会したきっかけは、その年の春の健康診断の結果のためでした。

血圧150mmHgを越え、体重80kg、腹囲も90cm近く、LDLコレステロール、尿酸、 $\gamma$ GTPも高値、いつのまにか生活習慣病になってしまっていた。毎年の健康診断で色々な項目が少しずつ異常値を示していたが、無視して飽食し、酒を飲み、宴会の後にラーメンを食べるような生活をしてきたつけがきていたようでした。

以前はスコア100を切れない下手なゴルフを時々やっていましたが、ギックリ腰を患ってからは、それもやめてしまい特に運動もしていませんでした。当時、高校生だった長女から、体型が“ドラエもん”みたいと揶揄される始末で、患者さんには食事に気を付けましょうとか、運動しましょうとか話をしていたが、自分は医者の不養生を地でいっていたようなものです。それでも、まあいいかと放置していましたが、健康診断の結果が、おそらく心のどこかに引っかかっていたのでしょう。或る日、車を運転中に自宅近くにスポーツジムが開所したことに気づき、家内も行きたいというので一念発起し夫婦でジムに入会することを決めました。

スポーツジムには、マシンを使った筋ト

レ、エアロバイクやトレッドミルを使った有酸素マシン、スタジオプログラムがあります。入会してからランニングや筋トレを行っていましたが、2～3カ月たちトレーニングが何となく単調で飽きてきた頃、スタジオを覗くとエアロビクスを少数ですが男性もやっていたのをみてスタジオプログラムに参加することとしました。スタジオプログラムではダンス、ボクササイズ、エアロビクスと色々やりましたが、エアロビクスが一番のお気に入りです。エアロビクスは女性がやるものと先入観を持っていましたが、やってみると、これが男性でもなかなか面白く、はまってしまいました。

当初、最後列でやり始め、周りは女性に囲まれていましたが、最近は男性の数も増えてきました。今は前から2列目、正面に向かって真ん中からやや左側が定位置で、別の位置で行うと何となく調子が狂うので場所の確保も必要です。終わった後の、心身の爽快感はランニング、筋トレとはまた違ったものです。

ある統計によると、フィットネスクラブの施設数は、平成20年代には健康ブームの高まりから上昇傾向で推移、売上高、会員数も右肩上がりに増加していると報告されています。総会員数に占める中高年層の割合の年々高くなり60歳以上の割合が、平成15年が18%、26年には約30%ですので、この10年で著明な伸びを示しています。50歳以上でみると約48%とされて

います。一方、高齢者数の伸びに比し20歳台は24%から15%、30歳台は24%から16%と減少に転じています。日本の人口構成の高齢化に伴い中高年層の健康志向が強まった傾向と考えられます。ジムで周りを見渡すと、確かにこれが事実であることがよくわかります。スポーツジムのトレーニング内容では筋肉トレーニング59%、有酸素マシン48%に比し、スタジオプログラムを利用している人はわずかに約10%で少なく、せっかくの機会がもったいない限りです。

ジム通いのお陰か、ギックリ腰の再発もなく、五十肩も経験せずにすんでいます。

腹囲も改善、体重は一時68kgまで減量しましたが、また増えて70kgを少し越えてきたので令和元年の目標は再度68kgです。食事にも注意するようになり少しは健康になったように思いますが、好きなアルコールだけは、意志薄弱でやめることができず、不徳の致すところです。

元来、物事にのめりこむような性格ではないのに、10年以上ジムに通い、エアロビクスを飽きもせず続けているのに、自分でも驚きです。還暦を過ぎた今、前期高齢者の一員となる日が近づいてきましたが、ジム通いでストレスを発散し医者の不養生を少しでも改善できれば考えています。



## 医療・福祉、介護など全ての医療環境をサポートします

### サービス内容

- ・医療機器、医療器具、医療消耗品の販売
- ・病院給食に関連した業務用食材及び厨房器械等の販売
- ・病院、介護施設に関する工事及び物品の販売
- ・臨床検査・水質検査・検便検査から食中毒検査などの検査
- ・看板、チラシ、インターネット等を利用した広告作製

これまで培ったノウハウを生かし、開業前の構想～開業後の施設経営まで九州・沖縄の医療機関、介護施設などの経営を全力でサポートいたします。

# 有限会社 DMS

(ドリーム・メディカル・サービス)

〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川3丁目14番20号3F  
TEL:092-525-7666・7667 FAX:092-525-7668

福岡県精神科病院協同組合

〒810-0005 福岡県福岡市中央区清川3丁目14番20号2F  
TEL:092-521-0690 FAX:092-524-4632

## 理 事 会

### ◎ 第66回理事会 報告

日 時 令和元年6月25日 (火) 16:00～16:52

場 所 タカクラホテル福岡 3F カトレアの間

(福岡市中央区渡辺通2丁目7-21)

出席者 (敬称略)

会 長 赤司

副会長 井上、八木、一宮

理 事 平専務理事、岩永総務理事、澄井財務理事、  
壁村企画理事、伊東、江頭、津留、  
寺坂、平城、深堀、増本、松浦、森田  
計 17名 (理事総数 23名)

監 事 小柳、吉村

議 長 岡嶋

副議長 梅野

顧 問 今泉、河野、上野

### I 行政等からの通知文書

特にありませんでした。

### II 公益目的事業関係

#### 1 報告事項

(1) 各種委員会・研修会関係

#### 【開催結果】

ア 第156回看護研修会

一宮担当理事から、報告がありました。

日 時 令和元年6月10日 (水) 10:00～15:00

場 所 九州大学医学部百年講堂

テーマ 急変の気づきと対応

—バイタルサインの変化の重要性—

内 容

講演1 バイタルサインの変化と重症化の  
指標、RRSシステムの導入  
九州大学病院集中治療部  
医師 牧 盾

講演2 急変を疑う状況での評価と判断  
九州大学病院

集中ケア認定看護師 鳥羽好和

講演3 急変症例から学ぶ具体的な対応  
公立学校共済組合九州中央病院

救急看護認定看護師 楠 久絵

#### 【開催予定】

ア 第68回栄養管理研修会

平城担当理事から、報告がありました。

日 時 令和元年8月24日 (土) 10:00～16:30

場 所 九州大学医学部百年講堂

テーマ 今求められる、糖尿病・がん・褥瘡  
の栄養管理

内 容

講演1 糖尿病の栄養管理と腸内細菌  
福岡歯科大学医科歯科総合病院  
内視鏡センター 教授 池田哲夫

講演2 消化器癌の周術期における栄養管理  
神戸大学大学院  
医学研究科 外科学講座  
食道胃腸外科学分野  
教授・診療科長 掛地吉弘

講演3 褥瘡の栄養管理  
～看護師の立場から～  
社会医療法人白十字会白十字病院  
ET (Enterostomal Therapist)  
ナース 梶西ミチコ

講演4 褥瘡の栄養管理  
～栄養士の立場から～  
中村学園大学栄養科学部  
栄養科学科 准教授 渡辺啓子

イ 第157回看護研修会

寺坂担当理事から、報告がありました。

日 時 令和元年8月27日 (火) 10:00～15:00

場 所 九州大学医学部百年講堂

テーマ 医療安全と倫理的課題、高齢者の  
エンド・オブ・ライフ・ケア

内 容

講演1 医療安全と倫理的課題：人生の  
最終段階における倫理的課題  
九州大学大学院医学研究院  
医療経営・管理学講座  
准教授 鮎澤純子

講演2 高齢者のエンド・オブ・ライフ・  
ケア  
久留米大学病院



老人看護専門看護師 秋吉知子

医事課課長 塩塚康子

### Ⅲ 収益事業、法人事務等関係

#### 1 報告事項

##### (1) 各種委員会・研究会関係

##### 【開催結果】

##### ア 第1回経営管理研究会

津留担当理事から、報告がありました。

日 時 令和元年6月17日 (月) 15:00～17:00

場 所 九州大学医学部百年講堂

テーマ どうなる、福岡県地域医療構想について  
～福岡県地域医療構想アドバイザーに聞く～

##### 内 容

講演 1 地域医療構想の進捗状況 (仮題)

産業医科大学医学部

公衆衛生学教室 准教授 村松圭司

講演 2 福岡県における在宅医療の現状と将来の予測

福岡県医師会常任理事

辻内科クリニック院長 辻 裕二

##### イ ほすびたる編集委員会

岡嶋委員長から、報告がありました。

日 時 令和元年6月25日 (火) 15:45～

場 所 タカクラホテル福岡 (3F カトレアの間)

##### 協議事項

1 7月号の現況について

2 8月号・9月号の編集計画について

##### 【開催予定】

##### ア 第59回診療情報管理研究研修会

増本担当理事から、報告がありました。

日 時 令和元年8月20日 (火) 10:00～17:00

場 所 九州大学医学部百年講堂

テーマ DPC業務

##### 内 容

講演 1 診療情報管理士への期待

国立病院機構九州医療センター

院長 森田茂樹

講演 2 診療情報管理の再構築

一済生会八幡総合病院の事例から一

済生会八幡総合病院

ランチョンセミナー (休憩時間中)

診療情報管理士の強みを活かした

病院経営への参画 (榎メハーゲン)

##### シンポジウム 3 DPC業務について

##### ① 当院におけるDPC業務について

朝倉医師会病院

診療情報管理課 中村 伸吾

##### ② 当院におけるDPCデータの2次利用

社会医療法人財団池友会

福岡和白病院

医事課係長 光永 篤史

##### ③ 当院における診療情報管理士と

DPCの関わりについて

遠賀中間医師会おなが病院

医事課 診療情報管理室

主任 下木 美穂

##### ④ 当院におけるDPC病名確認業務について

産業医科大学病院 医療支援課

医療情報係長 西岡 綾

##### 講演 4 院内の診療活動への理解を深める

ためのDPCデータの活用

国際医療福祉大学大学院

教授 石川ベンジャミン光一

##### 講演 5 委員企画コーナー

「診療記録の重要性について」

済生会福岡総合病院

診療情報管理室

室長 土橋佳代子

全体質疑応答

##### (2) 第65回理事会の議事録について

平専務理事から、説明がありました。

了承されました。

##### (3) 4・5月分収支報告について

澄井財務理事から、報告がありました。

##### (4) 会員の変更について

平専務理事から、説明がありました。

JR九州病院 (北九州市門司区)

林田一洋 前院長 → 古郷功 院長

嶋田病院 (小郡市)

島田昇二郎 前院長 → 西村一宣 院長  
新栄会病院（北九州市小倉北区）  
藤井一郎 前病院長 → 永田雅治 病院長  
小富士病院（糸島市）  
故 粕谷和男 前院長 → 中山裕 院長  
門司掖済会病院（北九州市門司区）  
阿部功 前院長 → 藤井健一郎 院長  
久留米大学医療センター（久留米市）  
廣松雄治 前病院長 → 大川孝浩 病院長  
福岡大学筑紫病院（筑紫野市）  
向野利寛 前病院長 → 柴田陽三 病院長  
大川病院（豊前市）  
大川敏彦 前理事長 → 大川順司 理事長・院長  
了承されました。

- (5) 第1回福岡県医療対策協議会の結果について  
一宮副会長から、5月31日に開催された同会議の結果について報告がありました。
- (6) 監事の途中退任の申し出について  
平専務理事から、吉村監事からの退任申し出について報告があり、6月末をもって退任する旨の説明がありました。なお、監事の選任は総会の決議事項であり、事前の立候補手続きも必要であるため、来年6月の定時会員総会までの間は1名欠員のままとしたい旨の補足説明がありました。

## 2 協議事項

- (1) 理事の補充選任について  
平専務理事から、別紙（略）のとおり立候補の届出があり、これを定時会員総会の第3号議案として提出したい旨の説明がありました。  
承認されました。
- (2) 参与の委嘱について  
平専務理事から、別紙（略）のとおり各団体から推薦があり、これを定時会員総会の第4号議案として提出したい旨の説明がありました。  
承認されました。

## 3 行事予定

平専務理事から、説明がありました。

### (1) 令和元年7月

- ア リハビリテーション委員会  
日 時 令和元年7月11日（木）15：00～  
場 所 TKP博多駅筑紫口ビジネスセンター  
903会議室
- イ ほすびたる編集委員会・理事会  
日 時 令和元年7月23日（火）  
場 所 福岡県中小企業振興センター  
301B会議室  
（福岡市博多区吉塚本町 9-15。JR 吉塚駅そば）  
① 15：45～ほすびたる編集委員会  
② 16：00～ 理事会

### (2) 令和元年8月

- ア 第59回診療情報管理研究研修会  
日 時 令和元年8月20日（火）10：00～17：00  
場 所 九州大学医学部百年講堂
- イ 第68回栄養管理研修会  
日 時 令和元年8月24日（土）10：00～16：30  
場 所 九州大学医学部百年講堂
- ウ 第157回看護研修会  
日 時 令和元年8月27日（火）10：00～15：00  
場 所 九州大学医学部百年講堂
- エ ほすびたる編集委員会・納涼会  
日 時 令和元年8月27日（火）  
場 所 割烹よし田（福岡市中央区天神）  
① 18：15～ほすびたる編集委員会  
② 8：30～納涼会
- オ 第13回県民公開医療シンポジウム  
日 時 令和元年8月31日（土）14：00～16：00  
場 所 北九州国際会議場

## 4 最近の医療情勢について

深堀理事から、民法改正に伴う保証ルールの変更（上限額の定めのない個人根保証契約は無効となる）について情報提供がなされ、河野顧問から補足説明が行われました。

また、平城理事から、働き方改革に関連し、年休付与の状況について問いかけがあり、寺坂理事、森田理事等から情報提供がなされるなど、情報交換が行われました。

# 暑中お見舞い 申しあげます

2019 年（令和元年） 盛夏

\*掲載は受付順にさせていただきます。



九州大学病院  
KYUSHU UNIVERSITY HOSPITAL

病院長 赤 司 浩 一

〒 812-8582  
福岡市東区馬出 3 丁目 1 番 1 号  
電話 (092)641-1151 FAX (092)642-5008  
URL <http://www.hosp.kyushu-u.ac.jp>



久留米大学病院  
KURUME UNIVERSITY HOSPITAL

理事長 永 田 見 生  
病院長 八 木 実

〒 830-0011  
福岡県久留米市旭町 67 番地  
電話 (0942)35-3311 FAX (0942)32-6278  
URL <http://www.hosp.kurume-u.ac.jp>



福岡大学病院  
Fukuoka University Hospital

病院長 井 上 亨

〒 814-0180  
福岡市城南区七隈 7 丁目 45 番 1 号  
電話 (092)801-1011 FAX (092)862-8200  
URL <http://www.hop.fukuoka-u.ac.jp/>



国家公務員共済組合連合会  
浜の町病院  
HAMANOMACHI HOSPITAL

病院長 一 宮 仁

〒 810-8539  
福岡市中央区長浜 3 丁目 3 番 1 号  
電話 (092)721-0831 FAX (092)714-3262  
E-mail: [info@hamanomachi.jp](mailto:info@hamanomachi.jp)  
URL <http://www.hamanomachi.jp>

医療法人 **原三信病院**  
Harasanshin Hospital

理事長 **平 祐 二**  
院長 **原 直 彦**

〒 812-0033  
福岡市博多区大博町 1 - 8  
電話 (092)291-3434 FAX (092)291-3424  
URL <https://www.harasanshin.or.jp>



医療法人社団 江頭会

**さくら病院**

理事長 **江 頭 啓 介**  
院長

〒 814-0143  
福岡市城南区南片江 6 丁目 2 番 32 号  
電話 (092)864-1212 FAX (092)865-4570  
E-mail: [info@sakurahp.or.jp](mailto:info@sakurahp.or.jp)  
URL <http://www.sakurahp.or.jp/>



医療法人社団 益豊会

**今宿病院**

理事長 **深 堀 元 文**  
院長

〒 819-0167  
福岡市西区今宿 2 丁目 12 番 7 号  
電話 (092)806-0070 FAX (092)806-4417  
E-mail: [info@imajuku-hospital.gr.jp](mailto:info@imajuku-hospital.gr.jp)  
URL <http://www.imajuku-hospital.gr.jp>



**宗像医師会病院**  
MUNAKATA MEDICAL ASSOCIATION HOSPITAL

院長 **伊 東 裕 幸**

〒 811-3431  
福岡県宗像市田熊 5 丁目 5 番 3 号  
電話 (0940)37-1188 FAX (0940)37-0016



独立行政法人  
国立病院機構

**福岡病院**  
NHO Fukuoka National Hospital

院長 **吉 田 誠**

〒 811-1394  
福岡市南区屋形原 4 丁目 39 番 1 号  
電話 (092)565-5534 FAX (092)566-0702  
URL <https://fukuoka.hosp.go.jp/>



医療法人 福岡桜十字

**桜十字福岡病院**

理事長 **今 村 博 孝**  
院長

〒 810-0004  
福岡市中央区渡辺通三丁目 5 番 11 号  
電話 (092)791-1100 FAX (092)791-1105  
E-mail: [fukuoka.info@sakurajyuji.jp](mailto:fukuoka.info@sakurajyuji.jp)  
URL <http://www.sj-fukuoka.or.jp/>





院長 梅野 守男

〒 819-0002  
福岡市西区姪の浜二丁目 2 番 50 号  
電話 (092)881-0536 FAX (092)883-8761  
URL <http://www.sawara-hp.jp/>



医療法人社団 筑山会

松岡病院

理事長 松岡 嘉宣  
院長

〒 821-0012  
福岡県嘉麻市上山田 1287  
電話 (0948)52-1105 FAX (0948)52-1926  
URL <http://www.chikuzankai.com/>



医療法人 井上会

篠栗病院

SASAGURI HOSPITAL

理事長 陣内 重三  
院長

〒 811-2413  
福岡県糟屋郡篠栗町大字尾仲 94 番地  
電話 (092)947-0711 FAX (092)947-0715  
E-mail: [info@sasaguri.or.jp](mailto:info@sasaguri.or.jp)  
URL <http://www.sasaguri.or.jp>



社会福祉法人 恩賜 済生会

福岡県済生会福岡総合病院

院長 松浦 弘

〒 810-0001  
福岡市中央区天神一丁目三番 四 六 号  
電話 (092)771-8151 FAX (092)716-0185  
E-mail: [byoin@saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp](mailto:byoin@saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp)  
URL <https://www.saiseikai-hp.chuo.fukuoka.jp>



医療法人 成康会

堤小倉病院

理事長 堤 康博  
院長

〒 802-0835  
北九州市小倉南区大字堀越 358 番地  
電話 (093)962-1950 FAX (093)963-1075  
E-mail: [horiko@lime.ocn.ne.jp](mailto:horiko@lime.ocn.ne.jp)  
URL <http://www.tsutsumikokura.com/>



地方独立行政法人 福岡市立病院機構

福岡市民病院

院長 桑野 博行

〒 812-0046  
福岡市博多区吉塚本町 13 番 1 号  
電話 (092)632-1111 FAX (092)632-0900  
E-mail: [shiminbyoin@fcho.jp](mailto:shiminbyoin@fcho.jp)  
URL <http://www.fcho.jp/shiminhp/>



医療法人社団 水光会  
**宗像水光会総合病院**  
 MUNAKATA SUIKOKAI GENERAL HOSPITAL

理事長 **津 留 英 智**  
 院 長 **田 山 慶 一 郎**

〒 811-3298  
 福岡県福津市日蔭野 5 丁目 7 番地の 1  
 電話 (0940)34-3111 FAX (0940)43-5981  
 E-mail:hosp@suikokai.or.jp

医療法人 ユーアイ

**西 野 病 院**

理事長 西 野 豊 彦  
 院 長

〒 820-0206  
 福岡県嘉麻市鴨生 532  
 電話 (0948)42-1114 FAX (0948)42-4790



独立行政法人 国立病院機構  
**小倉医療センター**

院 長 **澄 井 俊 彦**

〒 802-8533  
 北九州市小倉南区春ヶ丘 10 番 1 号  
 電話 (093)921-8881 FAX (093)922-5072  
 URL <https://kokura.hosp.go.jp/>



医療法人 永聖会  
**松田耳鼻咽喉科病院**  
 耳鼻咽喉科・気管食道科・アレルギー科

理事長 松 田 峻 一 良  
 院 長

〒 812-0053  
 福岡市東区箱崎 2 丁目 10 番 2 号  
 電話 (092)651-0522 FAX (092)651-5793



医 療 法 人 博 愛 会  
**京 都 病 院**  
 みやこびょういん

理事長 **岡 松 秀 一**  
 院 長 **中 池 竜 一**

〒 824-0811  
 福岡県京都郡みやこ町勝山箕田 298 番地  
 電話 (0930)32-2711 FAX (0930)32-2712  
 E-mail:miyako-post@miyako-hp.or.jp  
 URL <http://www.miyako-hp.or.jp/>

医療法人社団 正信会 **水 戸 病 院**

理事長 増 田 住 博  
 院 長 白 橋 齊

〒 811-2298  
 福岡県糟屋郡須恵町大字旅石 115 番地 483  
 電話 (092)935-3755 FAX (092)935-6626  
 E-mail:info@s-mito.org  
 URL <http://www.s-mito.org>



日本医療機能評価機構認定病院  
救急病院 指定自立支援医療機関(更生医療)

医療法人 シーエムエス

## 杉循環器科内科病院

理事長 杉 健 三  
院長

〒 837-0916  
大牟田市大字田隈 950 - 1  
電話 (0944)56-1119 FAX (0944)56-2077  
E-mail:info@sugi-hosp.jp  
URL <http://www.sugi-hosp.jp/>



国家公務員共済組合連合会

## 新小倉病院

院長 渋谷 恒 文

〒 803-8505  
北九州市小倉北区金田 1 丁目 3 番 1 号  
電話 (093)571-1031 FAX (093)591-0553  
E-mail:kk-shinkokura@shin-kokura.gr.jp  
URL <http://www.shin-kokura.gr.jp/>



地方独立行政法人 福岡市立病院機構  
福岡市立こども病院  
Fukuoka Children's Hospital

院長 原 寿 郎

〒 813-0017  
福岡市東区香椎照葉五丁目 1 番 1 号  
電話 (092)692-3732 FAX (092)682-7300  
E-mail:f-kodomo@fcho.jp  
URL <http://www.fcho.jp/childhp/>



独立行政法人 国立病院機構

## 大牟田病院

院長 川 崎 雅 之

〒 837-0911  
福岡県大牟田市大字橘 1044-1  
電話 (0944)58-1122 FAX (0944)58-6804  
URL <https://omuta.hosp.go.jp/>



原土井病院  
HARADOI HOSPITAL

理事長 原 寛  
院長 小 柳 左 門

〒 813-8588  
福岡市東区青葉 6 - 40 - 8  
電話 (092)691-3881 FAX (092)691-1059  
E-mail:info@haradoi-hospital.com  
URL <https://www.haradoi-hospital.com>



医療法人 佐田厚生会

佐田病院  
SADA HOSPITAL

理事長 佐 田 正 之  
院長 住 吉 金 次 郎

〒 810-0004  
福岡市中央区渡辺通 2 丁目 4 番 28 号  
電話 (092)781-6381 FAX (092)724-9411  
E-mail:info@sada.or.jp  
URL <http://www.sada.or.jp/>

医療法人 済世会

## 河野病院

KAWANO Hospital

理事長 河野 正美  
院長 今泉 暢登志

〒 811-2413  
福岡県糟屋郡篠栗町大字尾仲 139  
電話 (092)947-0611 FAX (092)947-8598  
E-mail:info@kawano-hp.com  
URL <https://www.kawano-hp.com/kawano/>



公立学校  
共済組合九州中央病院

Kyushu Central Hospital of the Mutual Aid Association of Public School Teachers

病院長 前原 喜彦

〒 815-8588  
福岡市南区塩原 3 丁目 23 番 1 号  
電話 (092)541-4936 FAX (092)541-4540  
URL <http://kyushu-ctr-hsp.com>



社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部  
福岡県済生会二日市病院

院長 間野 正衛

〒 818-8516  
福岡県筑紫野市湯町三丁目 13 番 1 号  
電話 (092)923-1551 FAX (092)924-5210  
E-mail:info@saiseikai-futsukaichi.org  
URL <http://www.saiseikai-futsukaichi.org>



一般財団法人 医療・介護・教育研究財団

## 柳川病院

院長 於保 和彦

〒 832-0077  
福岡県柳川市筑紫町 29 番  
電話 (0944)72-6171 FAX (0944)72-2092  
URL <https://www.yanagawa-hsp.jp/>



地域医療支援病院 地域がん診療連携拠点病院

一般社団法人 福岡県社会保険医療協会

社会保険 田川病院

院長 田中 裕穂

〒 826-0023  
福岡県田川市上本町 10 番 18 号  
電話 (0947)44-0460 FAX (0947)45-6540  
URL <http://www.s-tagawa-hp.tagawa.fukuoka.jp/>



## 福岡赤十字病院

日本赤十字社

院長 寺坂 禮治

〒 815-8555  
福岡市南区大楠 3 丁目 1 番 1 号  
電話 (092)521-1211 FAX (092)522-3066  
URL <https://www.fukuoka-med.jrc.or.jp/>





福岡県立精神医療センター

## 太宰府病院

Fukuoka Prefectural Psychiatric Center Dazaifu Hosupital

院長 小嶋 享二

〒818-0125

福岡県太宰府市五条3丁目8番1号

電話 (092)922-3137 FAX (092)924-4060

E-mail:info@dazaifu-hsp.jp

URL <http://www.dazaifu-hsp.jp/>

## 公立八女総合病院企業団

### 公立八女総合病院

企業長 平城 守

〒834-0034 福岡県八女市高塚540番地2

電話 (0943)23-4131 FAX (0943)22-3185

### みどりの杜病院

院長 原口 勝

〒834-0051 福岡県八女市立野362番地1

電話 (0943)23-0002 FAX (0943)23-0012

### 介護老人保健施設 回寿苑

施設長 須古 治男

〒834-1215 福岡県八女市黒木町湯辺田270番地

電話 (0943)42-3131 FAX (0943)42-3111



社会医療法人 喜悦会

## 那珂川病院

理事長 下川 敏弘

院長 吉村 寛志

〒811-1345

福岡市南区向新町2丁目17-17

電話 (092)565-3531 FAX (092)566-6460

E-mail:mail@nakagawa-hp.com



医療法人 八木厚生会

## 八木病院

理事長 野本 亀久雄

院長 山口 智太郎

〒812-0054

福岡市東区馬出二丁目21番25号

電話 (092)651-0022 FAX (092)631-1919

URL <http://www.yagi.or.jp/>



独立行政法人 国立病院機構

## 福岡東医療センター

院長 江崎 卓弘

〒811-3195

福岡県古賀市千鳥1丁目1番1号

電話 (092)943-2331 FAX (092)943-8775

URL <http://www.fukuokae.hosp.go.jp/>

## 社会医療法人 雪の聖母会

理事長 井手 義雄

### 聖マリア病院

病院長 島 弘志

〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422番地

電話 (0942)35-3322 FAX (0942)34-3115

URL <http://www.st-mary-med.or.jp/>

### 聖マリアヘルスケアセンター

病院長 井手 睦

〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5

電話 (0942)35-5522 FAX (0942)34-3306

URL <http://www.st-mary-health.jp/>



## 田川市立病院

田川市  
病院事業管理者

鴻江 俊治

病院長

松隈 哲人

## 飯塚病院 innovate and evolve

院長 増本 陽秀

地域医療支援病院  
救命救急センター  
臨床研修指定病院  
地域がん診療連携拠点病院  
総合周産期母子医療センター  
ISO9001/14001 認証取得

〒 820-8505

飯塚市芳雄町 3 番 83 号

電話 (0948) 22-3800 FAX (0948) 29-5744

URL <http://aih-net.com>



公益社団法人

## 地域医療振興協会 飯塚市立病院 Iizuka City Hospital

管理者  
兼院長

武 富 章

〒 820-0088

福岡県飯塚市弁分 633-1

電話 (0948) 22-2980 FAX (0948) 24-3812

E-mail: [info-iizukahp@jadecom.or.jp](mailto:info-iizukahp@jadecom.or.jp)

URL <http://www.iizukacityhp.jp/>

社会医療法人 天神会

## KOGA 新古賀病院

理事長

古賀 仲彦

院長

林 明宏

〒 830-8577

福岡県久留米市天神町 120 番地

電話 (0942) 38-2222 FAX (0942) 38-2255

URL <http://www.tenjinkai.or.jp/>



医療法人 徳洲会

## 福岡徳洲会病院 Fukuoka Tokushukai Hospital

院長

海江田 令次

〒 816-0864

福岡県春日市須玖北 4 丁目 5 番地

電話 (092) 573-6622 FAX (092) 573-1733

URL <http://www.f-toku.jp>



一般社団法人 福岡県社会保険医療協会  
なかばる

## 社会保険 仲原病院 Social Insurance Nakabaru Hospital

院長

岡嶋 泰一郎

〒 811-2233

福岡県糟屋郡志免町別府北 2 丁目 12 番 1 号

電話 (092) 621-2802 FAX (092) 623-2247

E-mail: [nhp-jimu1@nakabaru-hp.jp](mailto:nhp-jimu1@nakabaru-hp.jp)

URL <http://www.nakabaru-hp.jp/>

ほすびたる7月号をお届けします。

今月号は、たくさんの会員の皆様から、暑中見舞いの広告を掲載していただきました。編集委員会一同、深く感謝申し上げます。6月には、当協会の第7回定時会員総会が開催されましたが、その御報告も掲載しております。どうぞ一読ください。また、「臨床」を始め、今月号にご寄稿をいただきました著者の皆様に、心より御礼を申し上げます。

7月に入って、不順な天候が続いていますが、最近ちょっといい話がありましたのでご紹介します。先日、ドイツ在住の日本人、旧知のM氏よりメールが届きました。「ハイデルベルグの独日協会の会員で、ドイツ人のW氏が、九州の小鹿田（おんた）焼きに魅せられ、ぜひ輸入したい、またドイツ国内のいろいろなギャラリーで展示したいと希望している。ついてはだれか日本側の窓口になれる方を紹介してほしい」、という内容のメールでした。W氏が小鹿田焼きを知ったのは、彼の地で発行されている南ドイツ新聞に、小鹿田焼きが大きく取り上げられたことが、きっかけとなったようです。私が西日本日独協会（福岡市）の会長をしており、日田市近郊にある小鹿田が、福岡市に近いことから、知己がいるものと考えられたようです。そう言われても、知り合いはおらず、困りはてた挙句、大分の日独協会にご協力をお願いすることを思い付き、早速、I氏に連絡を取りました。I氏は大分のみならず、西日

本日独協会のメンバーでもあり、何度かお会いしたことがありました。それからのI氏の動きは迅速で、いろいろな伝手をたどり、1週間ほどで小鹿田焼きの組合長の方にたどり着くことができました。E-mailを使われないため、ドイツとの連絡は、日本語で、電話、FAX、手紙を用いて行われることとなりました。ドイツ側の窓口を、日本人であるM氏が引き受け、交流が始まりました。焼き物の里、小鹿田と、ドイツの歴史的な都市、ハイデルベルグとが結ばれ、素朴な小鹿田焼きがドイツ国内に広がっていく。思っただけでもわくわくするようなロマンを感じます。今後、さらに交流が深まっていくことが楽しみです。

ちなみに、M氏の私宛のメールでは、「小鹿田」が、「子鹿田」と間違っ書かれていました。組合長さんあてのメッセージにも間違っ書かれています。九州の方ではないので、ありうる間違いと苦笑しました。返信でしっかり訂正しました。えっ、また間違ったらどうするの、失礼でしょう、ですって？ 次回間違っようであれば、その時は、またまた、チョコちゃんに登場してもらいます。

「ぼーっと生きてんじゃねーよ!」。

えっ、ちゃんと訂正されてたらどうするの、ですって？ そこもチョコちゃんにお願いするつもりです。

「つまんねえやつだなー」。

（岡嶋泰一郎 記）

## ほすびたる

第738号

令和元年7月20日発行

発行 ◎（公社）福岡県病院協会

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号  
福岡県メディカルセンタービル 2F  
TEL092-436-2312 / FAX092-436-2313  
E-mail fukuoka-kenbyou@globe.ocn.ne.jp  
URL http://www.f-kenbyou.jp

編集 ◎（公社）福岡県病院協会

制作 ◎（株）梓書院

〒812-0044 福岡市博多区千代3-2-1  
麻生ハウス 3F  
TEL092-643-7075 / FAX092-643-7095  
E-mail : mail@azusashoin.com

編集主幹…赤司 浩一

編集委員長…岡嶋泰一郎

編集副委員長…一宮 仁

編集委員…平 祐二・澄井 俊彦

岩永 知秋・増本 陽秀

壁村 哲平・平野 礼子



## ■ 第13回県民公開医療シンポジウム

入 場 料  
無 (事前申込不要)

# 「令和」を 健やかに生きよう!

～糖尿病は認知症やサルコペニアにもご用心～

日 時 2019- **8/31** **土** 14:00～16:00  
(受付 13時 開場 13時30分)

場 所 北九州国際会議場 メインホール  
〒812-0032 北九州市小倉北区浅野3丁目9-30 TEL093-541-5931

定 員 **500名**

### プ ロ グ ラ ム

#### ① 開会のことば

公益社団法人福岡県病院協会 会長

九州大学病院 病院長

赤司 浩一

座 長

公益社団法人福岡県病院協会 財務理事

国立病院機構 小倉医療センター 院長

澄井 俊彦

国立病院機構 小倉医療センター

糖尿病・内分泌代謝内科 医長

糖尿病センター長

的場 ゆか

#### ② シンポジウム



#### 「高齢者の糖尿病」

北九州市立病院機構 北九州市立医療センター

内分泌代謝・糖尿病内科  
主任部長

足立 雅広 先生



#### 「認知症と糖尿病」

国立病院機構 小倉医療センター

精神・神経センター長  
精神科医長

三浦 智史 先生



#### 「サルコペニアと糖尿病」

中村学園大学

栄養科学部栄養科学科  
教授

河手 久弥 先生

#### ③ 質疑応答

#### ④ 閉会のことば

公益社団法人福岡県病院協会 副会長

国家公務員共済組合連合会  
浜の町病院 院長

一宮 仁



主催：公益社団法人福岡県病院協会

後援：福岡県、北九州市、(公社)福岡県医師会、(公社)福岡県薬剤師会、(公社)福岡県看護協会、(公社)福岡県栄養士会、(公社)福岡県診療放射線技師会、(公社)福岡県理学療法士会、(公社)福岡県作業療法協会、(一社)福岡県言語聴覚士会、(一社)福岡県歯科医師会、(一社)福岡県臨床衛生検査技師会、(一社)福岡県私設病院協会、(一社)福岡県精神科病院協会、(一社)福岡県医療法人協会、(一社)福岡県病院薬剤師会、日本糖尿病協会福岡県支部、(公社)北九州市医師会、(一社)北九州市歯科医師会、(一社)遠賀中間医師会、(一社)京都医師会、(公社)豊前築上医師会、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、朝日新聞社、日本経済新聞社西部支社、**NHK北九州放送局**、(株)福岡放送、RKB毎日放送、(株)テレビ西日本、九州朝日放送、TVQ九州放送(順不同)  
公益社団法人を(公社)、一般社団法人を(一社)と省略させていただきます。

連絡先 公益社団法人福岡県病院協会

TEL:092-436-2312 FAX:092-436-2313

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2丁目9番30号  
福岡県メディカルセンタービル 2階

(公社)福岡県病院協会とは…

昭和25年に設立され、「病院の経営管理の向上を図り、地域医療の普及向上と、県民の健康増進に寄与すること」を目的に、各種教育研修会などを実施しています。会員は、県内の4大学病院など、公私の約250病院が加入しています。